

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22095	事業名	市民活動応援事業			評価分類	A1			
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()									
	施策体系	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化			予算科目	会計	01:一般会計			
		基本施策	02:市民参画・交流活動の促進と協働の推進				款	02:総務費			
		施策の方向	01:市民活動の活性化と協働の推進				項	01:総務管理費			
	重点プロジェクト	02:「まち紡ぎ」プロジェクト				目	01:一般管理費				
	事業期間	H 25 年度 ～ R - 年度		主な根拠法令等	亀山市市民活動応援交付金交付要綱						
② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)				
	市が発行する市民活動応援券を地域まちづくり協議会に交付した後、地域まちづくり協議会はお礼として応援券を直接または市民を通じて登録団体に渡すしくみである。登録団体へ市が応援交付金を交付することで、市民活動の活性化に向けて支援を行う。		市民、市民活動団体、地域まちづくり協議会		市内において流通する価値の媒体として市が発行する市民活動応援券を地域まちづくり協議会及び市民が活用することを通じて、応援券を取得した登録団体に対し市が応援交付金を交付することにより、市民活動の活性化を図り、活力のある地域社会の実現に寄与する。		市民活動応援券を各地域まちづくり協議会へ発行するとともに、活動実績等に応じて市民活動応援交付金を登録団体に交付する。また、市広報やCATV、啓発用冊子等を通じて、当該制度の周知及び登録団体の募集を行うほか、審査検証委員会を開催し、登録団体の実績確認や団体登録審査を行うとともに、当該事業の検証を行う。				
③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○市民活動応援券の発行・交付(まち協) ○市民活動応援交付金の交付(登録団体) ○登録団体の募集・制度周知 ○審査検証委員会の開催		○市民活動応援券の発行・交付(まち協) ○市民活動応援交付金の交付(登録団体) ○登録団体の募集・制度周知 ○審査検証委員会の開催		○市民活動応援券の発行・交付(まち協) ○市民活動応援交付金の交付(登録団体) ○登録団体の募集・制度周知 ○審査検証委員会の開催		○市民活動応援券の発行・交付(まち協) ○市民活動応援交付金の交付(登録団体) ○登録団体の募集・制度周知 ○審査検証委員会の開催		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		地域まちづくり協議会へ市民活動応援券55,266枚を発行・交付し、地域まちづくり協議会の使用枚数は37,252枚で、利用率67.4%であった。市民活動応援交付金を76団体へ2,334,200円交付し、財政的支援を行った。また、登録団体の募集、広報掲載、文字情報で放映、HP掲載して制度の周知を図り、審査検証委員会を2回開催し、登録団体の審査や当該事業の検証を行った。		地域まちづくり協議会へ応援券56,049枚を発行・交付し、地域まちづくり協議会の使用枚数は48,511枚で、コロナ禍前以上の利用率86.6%となった。前年度実績に基づき市民活動応援交付金を76団体3,499,800円交付し、財政的支援を行った。また、登録団体の募集、CATVや広報等を活用した制度の周知を図った。さらに、審査検証委員会を3回開催し、制度施行から10年間の検証結果を委員会から市長へ報告を行った。		地域まちづくり協議会へ応援券55,953枚を発行・交付し、地域まちづくり協議会の使用枚数は51,281枚で、過去最高の利用率91.7%となった。市民活動応援交付金を78団体4,687,200円交付し、財政的支援を行った。登録団体の募集、広報等により制度周知を図った。審査検証委員会、検討会議を5回ずつ開催し、制度の検証を行うほか、行政情報番組等で制度のPRを行った。		地域まちづくり協議会へ応援券55,709枚を発行・交付し、地域まちづくり協議会の使用枚数は48,994枚、利用率は87.9%であった。市民活動応援交付金を76団体へ4,916,700円交付し、申請率は96%であった。登録団体の活動を紹介する動画を作成し、市HPに掲載するなど周知を行った。審査検証委員会及び検討会議をそれぞれ4回開催し、制度見直しに向けての検証を行った。		
	計画 額	事業費	事業費	6,800千円	6,141千円	7,300千円	7,580千円	8,600千円	9,283千円	9,800千円	9,639千円
			国・県支出金		0千円		0千円		0千円		
			地方債		0千円		0千円		0千円		
			その他	6,800千円	6,141千円	7,300千円	7,291千円	8,600千円	9,139千円	9,800千円	9,639千円
			一般財源		0千円	0千円	289千円		144千円		0千円
	決算 額	事業費	事業費		6,072千円		7,463千円		8,831千円		9,192千円
			国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円
地方債				0千円		0千円		0千円		0千円	
その他				6,072千円		7,174千円		8,687千円		9,192千円	
一般財源				0千円		289千円		144千円		0千円	
①期間内計画額(R4-7)		32,500千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		32,500千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	9,639千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	市民活動応援制度の登録団体数	審査検証委員会の審査後、市が登録団体と認めた団体数	活動	件	計画値	76	77	78	77
					実績値	76	80	78	77
	まちづくり協議会の応援券の使用率	地域まちづくり協議会に交付した応援券のうち使用した応援券の率	成果	%	計画値	50	60	80	92
					実績値	67	87	92	88
	応援券の応援交付金申請への使用率	登録団体が取得した応援券のうち応援交付金申請に使用した率	成果	%	計画値	92	93	94	100
					実績値	91	94	93	96

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	A	地域まちづくり協議会の応援券使用率は、制度開始以来2番目の使用率であり、本制度に一定の理解が得られ、地域の活性化に寄与した。また、登録団体の活動動画を市HP等で紹介することで、広く市民活動を周知した結果、登録団体の応援交付金申請についても、制度開始以来最も高い申請率となり、広く登録団体へ財政支援ができた。さらに、審査検証委員会及び検討会議による制度の検証により、課題解決を図るべく制度の見直しを行うことができた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民、市民活動団体、地域まちづくり協議会	市内において流通する価値の媒体として市が発行する市民活動応援券を地域まちづくり協議会及び市民が活用することを通じて、応援券を取得した登録団体に対し市が応援交付金を交付することにより、市民活動の活性化を図り、活力のある地域社会の実現に寄与する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	地域まちづくり協議会の応援券を活用した多くの事業が実施されたものの、依然として、地域まちづくり協議会間での使用率の差が生じており、登録団体が受け取る応援交付金にも活動内容により団体間で差が生じている。また、応援券を手にした市民に利得(メリット)が感じられないため、市民間流通が進んでいない。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(拡大)	施策の更なる推進に向け、事業の拡大・充実を図る。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	デジタルを活用した情報提供により登録団体の活動を周知するとともに、各地域まちづくり協議会からの事業計画に基づき応援券を交付することで、使用されない応援券の有効活用を図り、使用率の差を是正する。また、けんこうマイレージとの連携を図り、市民間流通を促進する。	見直しを行った制度に基づき、事業の充実を図る。

(履歴)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	A	A	A
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(拡大)	継続(拡大)

1次評価者	市民文化部 まちづくり協働課 市民協働GL 木田 ゆき子
最終評価者	市民文化部 まちづくり協働課長 松岡 保範